



バックナンバー



2023年 vol.105 no.12

看取りについて考える

編集幹事：井口真紀子

看取りという言葉を知ったとき、苦手意識をもっている方も多いのではないのでしょうか。終末期にどんなケアをしたらよいか、家族にどんな説明をするのか、患者や家族の苦しみにどう向き合うか、自分自身の精神的な負担も忘れてはいけません。

本特集では、終末期の医療的な対応をまとめたほか、医療者としての死とのかかわり方について死生学のスペシャリストが解説しています。普段学べない内容盛りだくさんとなっております、あなたの心構えも変わるかもしれません。



2023年 vol.105 no.11

総合診療×脳梗塞

編集幹事：岡田 悟

日本において、要介護の原因の第2位となっているのが脳卒中ですが、総合診療医にとっても非常にコモンな疾患です。本特集では脳梗塞へのかかわり方として、超急性期から回復期・慢性期にいたるまでの対応をいろんな角度で解説しております。

急性期での治療判断やリハビリに向けた連携など、現場目線で困る問題や見過ごされがちだけど潜在している問題を中心にまとめましたので、どのポイントでかわる場合にも、役に立つ情報が入っております。患者さんのステージにあわせてうまくコーディネートしていきましょう。



2023年 vol.105 no.10

明日から始める！ジェネラリストのための転倒予防アプローチ

編集幹事：古屋 聡

転倒はときに重篤な外傷を引き起こし、死亡や寝たきりにつながることもあるため、その予防は非常に重要です。しかし具体的な対策がわからず、患者さんに「転ばないように気をつけてくださいね」と声をかけることしかできていない……なんてことはありませんか？

さまざまな場所・シチュエーションで起こる転倒を防ぐには、運動機能以外にもさまざまな要素への介入が必要です。認知機能、薬や栄養、生活動作、道具や環境の調整など、転倒予防に役立つ実践的なアプローチを多方面から解説した特集です。危険な転倒から患者さんを守るため、ぜひご一読を！

2023年 vol.105 no.9
とことん深めるライフストーリー
職業編
編集幹事：大浦 誠

2023年 vol.105 no.8
発達障害×慢性疾患
編集幹事：今村弥生

2023年 vol.105 no.7
関節痛
リウマチ・膠原病診療に強くなる
編集幹事：石丸裕康

2023年 vol.105 no.6
患者の不安をやわらげるクリニカルスキル
編集幹事：高木 暢，大橋博樹

2023年 vol.105 no.5
運動療法・食事療法のエッセンス
編集幹事：上月正博

2023年 vol.105 no.4
達人に学ぶ
小児の発熱・皮膚疾患
編集幹事：児玉和彦

2023年 vol.105 no.3
ポストコロナの感染症
編集幹事：岡 秀昭

2023年 vol.105 no.2
不明熱のカルテ
編集幹事：佐田竜一



プライマリ・ケア医におすすめ



臨床と宗教
死に臨む患者への
スピリチュアルケア
編著：孫 大輔
A5判 203頁 2023年1版
定価：2,750円
本体2,500円+税10%



小児感染症の
微生物検査の進め方
編：堀越裕歩
A5判 315頁 2023年1版
定価：3,850円
本体3,500円+税10%



とことん極める！
腎盂腎炎
編：長野広之，徳田嘉仁
B5判 221頁 2022年1版
定価：4,400円
本体4,000円+税10%



家で診ていく誤嚥性肺炎
チームでつむぐ在宅医療
監修：平原佐斗司
著：吉松由貴，長野広之
A5判 165頁 2023年1版
定価：2,970円
本体2,700円+税10%

CHIRYO 各種 SNSはこちら



Facebook



X
(Twitter)



note



LINE
スタンプ